

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和8年度第3回福津市都市計画審議会		
開催日時		令和8年9月11日（金）15時30分～		
開催場所		福津市役所 別館1階 大ホール		
委員名		出席	第1号委員	寺町賢一、鈴木裕介、横山弘道、田畑博規、井上重信、小島恵
			第2号委員	中村清隆、米山信、豆田優子
			第3号委員	岡将平（代理出席：矢加部忍）
			第4号委員	山口尚志
		欠席	大庭知子	
所管課職員職氏名		都市整備部長 水上雅史 都市計画課長 安永紳一郎 都市政策係長 前田樹 都市政策係 三船浩史		
会 議	議 題 （内 容）	1. 会長あいさつ 2. 審議事項 ・第2次福津市都市計画マスタープランの改訂について 3. その他		
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開		
	非公開の理由			
	傍聴者の数	0人		
	資料の名称	・次第 ・第2次福津市都市計画マスタープラン改訂に係る市民意見公募によるご意見・回答表 ・第2次福津市都市計画マスタープラン ・改訂新旧対照表		
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録		
		☒ 録音テープを使用した要点記録		
		☐ 要点記録		
		記録内容の確認方法		
その他の必要事項				

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○会長のあいさつ

○審議会成立宣言

委員 12 名中 11 名の出席により成立。

○会議録の確認方法

録音機器を用いて要点筆記したものを井上委員、豆田委員が確認・署名を行う。

○会議の公開の了承

公開。傍聴者なし。

○審議事項

- ・議案第 54 号 第 2 次福津市都市計画マスタープランの改訂について
事務局より資料に沿って説明

<質疑>

寺町会長 数字の全半角が混在しているので統一すること。6 ページの図 1-3 の後に空白を追加すること。

山口委員 答申書に避難所についての具体的な記述がないがよいのか。

事務局 本答申は第 1 回都市計画審議会において、市から本審議会へ審議を依頼する諮問書を提出しており、その審議結果を回答するもの。審議内容は現行の都市計画マスタープランでは災害のあった内殿地区に一時避難所等を含む産業用地が確保できないため、その規制を見直しできるよう都市計画マスタープランを改訂するという内容である。避難所の具体的な内容等は特定用途制限地域の審議の際に審議いただく。

鈴木委員 答申書の文言、一時避難所に修正するように。

山口委員 都市整備の基本方針 1～5 については優先順位か。

事務局 優先順位ではない。

山口委員 近年自然災害頻発し、都市計画としては自然災害も重要な事項と思うが、基本方針に 1 行しか記載がない。

事務局 平成 30 年に策定したマスタープランであり、大きな方針については改訂していない。現在策定中の第 3 次都市計画マスタープランおよび立地適正化計画において災害について重点的に記載する。

寺町会長 現在策定中の立地適正化計画では、危険なエリアを示し、防災と組み合わせたまちづくりを検討しなければならないようになっている。

<採決>

全員賛成により可決。

○その他

- ・第 3 次都市計画マスタープランおよび立地適正化計画の策定について報告。
アンケート内容の説明

<質疑>

山口委員 アンケートの年収や配偶者の有無を入れるべき。同居家族の経済状況も入れた方がよい。

寺町会長	年収によって利用する交通が変わるのも理解するが、アンケートの回収率下がる危険性もある。
事務局	内部で検討する。
寺町会長	福津市としての課題はなにか。それを立地適正化計画でどう解消するかが本アンケートでは分からない。また立地適正化計画の事前説明がなくてもよいか。
豆田委員	アンケートの前に説明文はあるのか。
事務局	アンケートは、はがきにQRコードを記載し送付する。はがきなので説明は短いが、アンケートの主旨について説明を入れている。
鈴木委員	コンサルが入っているのに、質問と回答に恣意的なものやミスリードがある。コンサルに相談するように。
寺町委員	知りたい事があるからアンケートを取るのが研究的な考え。立地適正化計画のアンケートだけであれば具体的な内容がないと違和感があるが、都市マスであれば漠然とした質問となっても仕方ない。問21の質問については、津屋崎都市計画区域を福岡広域にするならこうなりますよ、とすると分かりやすい。
山口委員	2,000人に送付して回答率が何%程度あれば信頼できるのか。
寺町会長	一般的な回答率は30～40%、悪くて20%程度。400～800程度のサンプル数が想定されるが、数百あれば無視はできないというのが一般的な感覚。ただし、年代と居住地域と職業などを組み合わせ次第で必要なサンプル数が異なる。
事務局	市全体のまちづくりのあり方を調査するものではあるが、地域によって課題も異なるため、地域課題の分析もしたいと考えている。サンプル数があまりに少なければ追加調査を行う。
寺町会長	都市計画マスタープランや立地適正化計画であれば地域毎の課題が分析できれば良いし、サンプル数が膨大でなくても良いと考える。
その他意見なし。会議終了	

上記会議録は事務局が作成したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

福津市都市計画審議会

委員 _____

福津市都市計画審議会

委員 _____